

学士＋修士 5年制プログラム UTokyo College of Design について

2025年10月8日

東京大学 執行役・副学長
UTokyo College of Design 企画調整室長
小関 敏彦

※ 本事業は文部科学省への設置申請に向けて構想中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

UTokyo College of Designの概要

- 2027年秋に開講予定（秋入学）
- 学士＋修士の5年制プログラム
- 1 学年 100人（日本人・International 各50人程度）
- 英語による学び、初年次全寮制
- アクティブ／プロジェクトベースド・ラーニング
- 学生本位の主体的な学びと、そのための様々なサポート体制
- スタジオを中心とする多様な学びと内外との交流
- 東大内の他学部学生も参加可能なアフィリエイト制度
- 多様で国際的な学生を受け入れる新しいアドミッション

UTokyo College of Design で学ぶ「Design」

Designの拡張

20世紀までのデザイン

主に
プロダクトデザイン（物）
アート、意匠



- 社会課題の複雑化と制度疲労
- 価値観の多様化と個人化
- テクノロジーの進化
- デザイン思考(Design Thinking)の普及と対象の拡張

21世紀に急速に拡張・多様化

ソーシャルデザイン（社会システム設計）
ポリシーデザイン（政策立案）
システムデザイン（多様な要素の統合）
サービスデザイン（複数接点の統合）
インターフェイスデザイン（人間中心設計）
インクルーシブデザイン（多様な要素の包摂）
スペキュラティブデザイン（未来価値創造）
....

UTokyo College of Designでは

- 社会課題の解決、社会システムの創成や価値の創造のためのデザイン
- そのためのデザインの基本的考え方, アプローチ, 倫理の学び + 多様で広範な学術の学び
- 様々なプロジェクト、フィールドワークを通じた実践
- デザインと広範な学術知を通じた多面的、俯瞰的視野の獲得

UTokyo College of Designでの学び

デザインと広範な学術知を、自ら学びのパスを組み立て、主体的に学び、それらを組み合わせ、多様なプロジェクトを通して、課題の解決や価値創造の様々なプロセスを経験する。

幅広い学術視点から、社会の課題解決や価値創造を推進し、リードする人材を育成する。

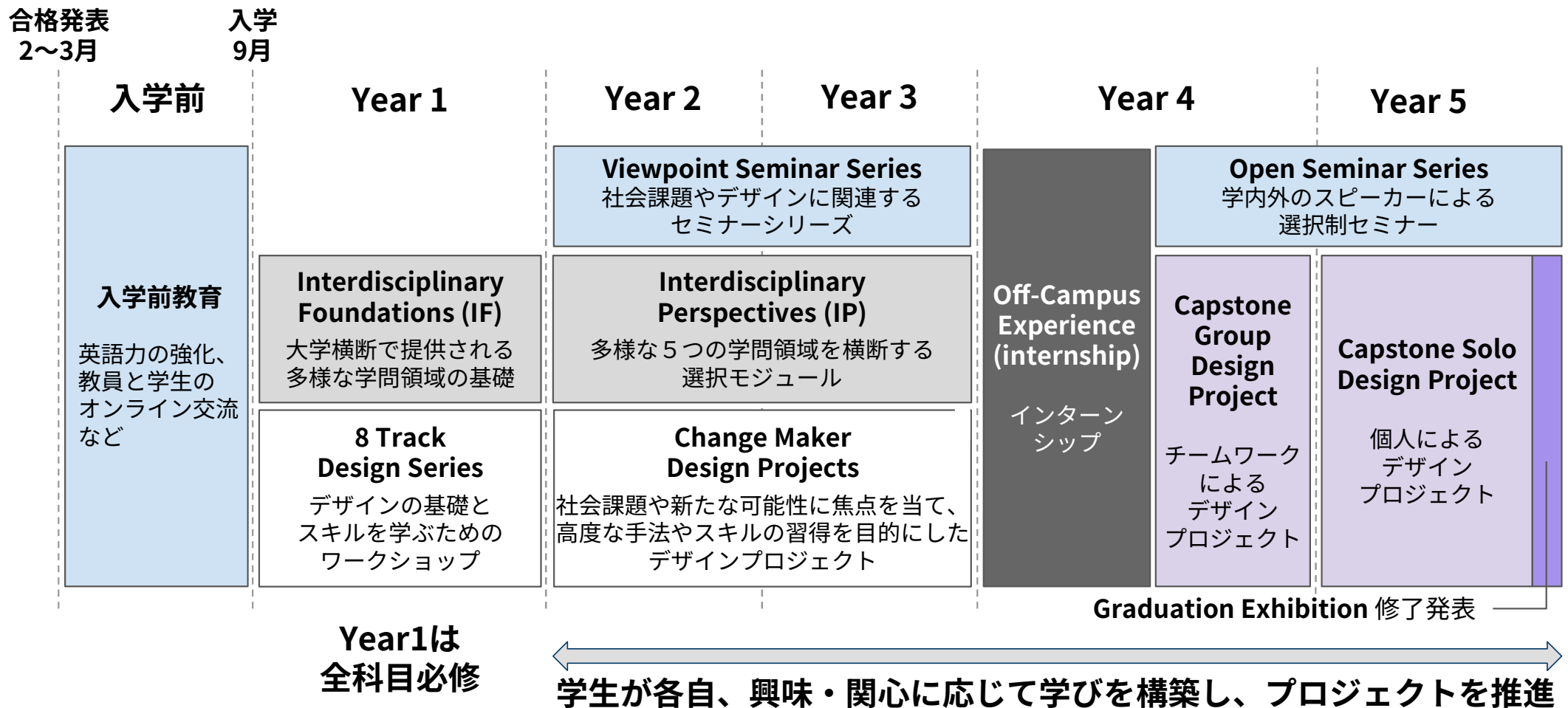
Wide
Disciplinary
KNOWLEDGE



DESIGN
Approach &
Skills



UTokyo College of Designのカリキュラム



Interdisciplinary Perspectives (IP)– 自ら学びを構築する広範な学術知

5つのIP領域

- **Environment & Sustainability**
環境とサステナビリティ
- **Technology Frontiers & AI**
テクノロジーフロンティアとAI
- **Governance & Markets**
ガバナンスとマーケット
- **Healthcare & Wellbeing**
ヘルスケアとウェルビーイング
- **Culture & Society**
文化と社会

例 サステナビリティ学の基礎
地球温暖化の現象と影響
自然保全と生物多様性
エネルギーとサステナビリティ
気候変動と農水畜産業
....

例 医療の構造概論
薬を支えるベーシックサイエンス
最先端医療の現在と未来
人の移動とグローバルヘルス
健康的な都市とコミュニティのデザイン
....

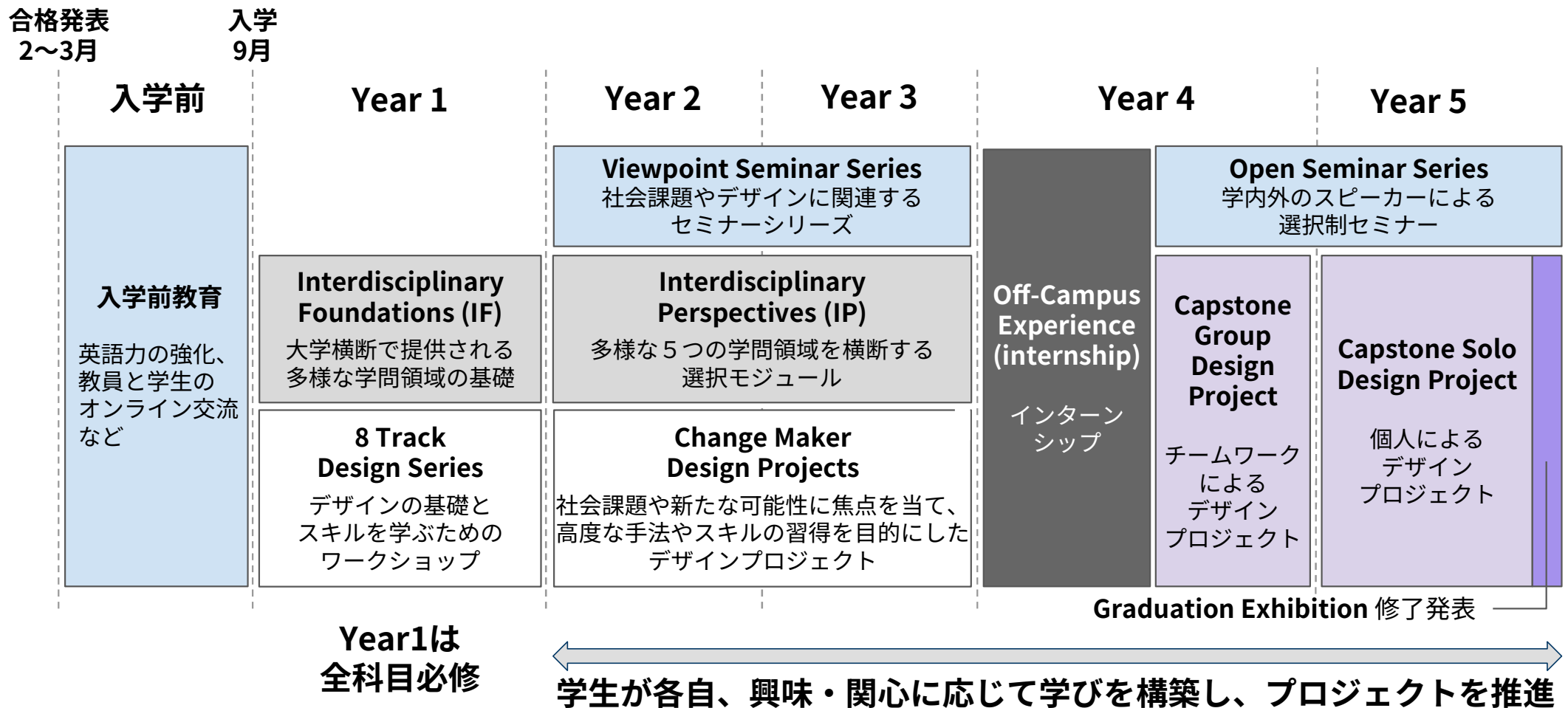
Change Maker Projects (CMP) - Designと多様な学術知の融合の実践

CMPの
領域例

- Climate Change / 気候変動
- Disaster Resilience / 災害レジリエンス
- Culture and Tradition / 文化と伝統
- Entrepreneurship / アントレプレナーシップ
- Technologies for Creativity / クリエイティブ・テクノロジー
- Social Inclusion / 社会的包摂
- Well-being / ウェルビーイング
- Lifelong Learning / 生涯学習
- Food and Nutrition / 食と栄養
- Cities and Mobility / 都市とモビリティ
- Social Justice / ソーシャル・ジャスティス
- Biodiversity / 生物多様性

- テーマ選択式のグループプロジェクト
- Year 2-3 で5～7のCMPを経験
- 社会課題、将来予測に関する先端テーマ
- 関連する学内外の一線の専門家・研究者・実務家の参画
- 課題発掘と解決策、議論、解析、検証、プロトタイピング、提案
- 多様なメンバーの中で協働、リーダーシップ

UTokyo College of Designのカリキュラム



UTokyo College of Design で実現しようとしていること

新たな人材育成

- 社会・世界の多様性を理解し、多様な人々と議論や協働ができ、それをリードできる人材
- 多面的・俯瞰的な視点から新たな課題を発掘し、解決に取り組める人材
- 社会連携や社会的責任の意識が高く、新たな社会システムや事業の創出に挑戦できる人材

教育（学び）の改革

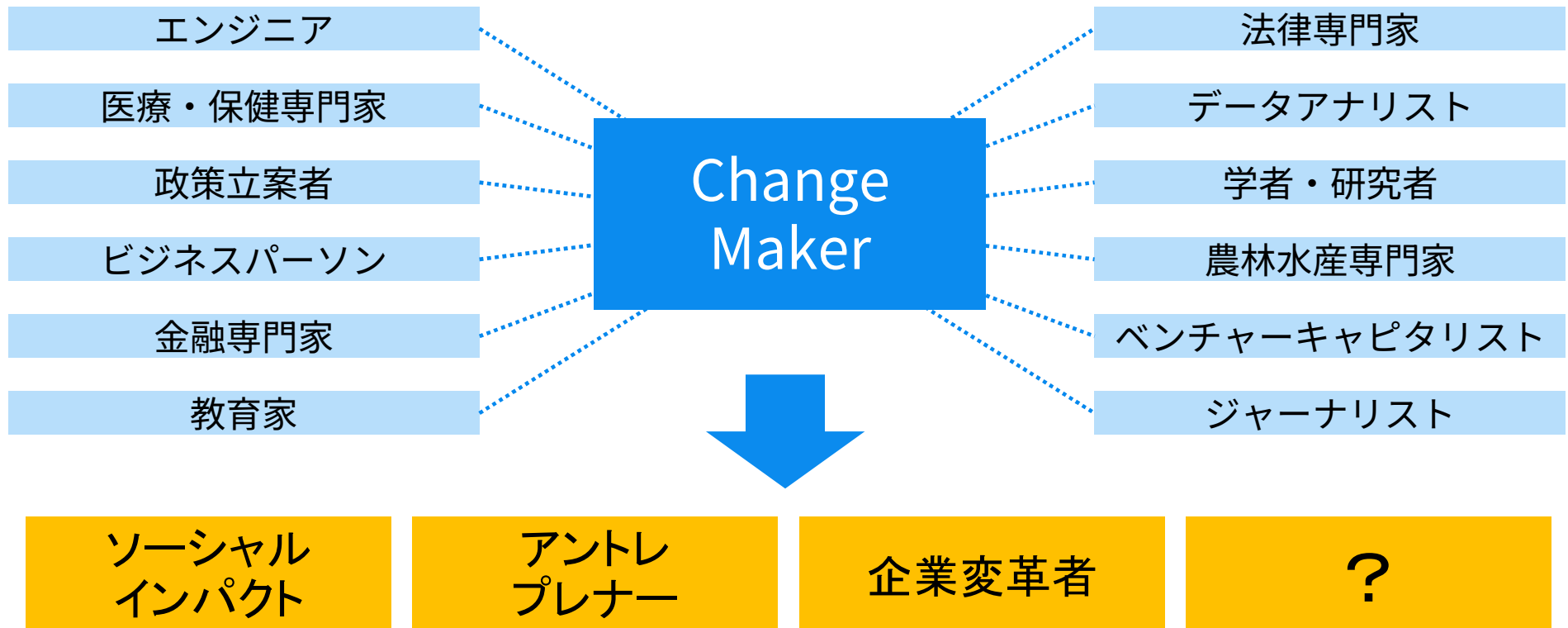
- 国際的な学びの環境（秋入学、国際標準のアドミッション、全て英語による学位取得）
- 学生自らの学びの構築と深化の促進、アクティブ／プロジェクトベースの主体的な学びと知の定着
- 長期インターンシップ、フィールドワークなどを通した、学外、社会、世界との協働・連携

学際的な学びとデザイン的な思考

- 幅広い学術分野の学びと、それぞれの分野の連関の理解
- 多様な学術を活用し融合した課題の解決や価値の創造の経験
- 当事者目線、ユーザー目線からの思考・アプローチ

修了後のキャリア 100 Changemakers = 100 career paths

多様な分野・専門家をつなぎ、意義のある変革をもたらす



UTokyo College of Design における学修5年プログラムの考え方

5年の新たな人材育成・学びの実現

- 4年／(4+2)年では実現できない設計自由度のある一貫したプログラム。質保証を加え5年で学修を完結。
- 基礎の必修⇒主体的な学びの展開と応用⇒社会に出て学びの確認と実地経験⇒主体的で社会と接続性のある学びの集大成、の構成。
- その中で、幅広い学び、繰り返しの実践経験、多面的・俯瞰的な視点、社会との連携、を実現。
- 世界的に標準の学修5年を採用し、国際化、多様性の中での学びを実現。

目標実現のためのプログラムの設計

- 5年一貫したディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONのポリシー
- 主体的な学びの実質化と質保証 — アカデミックアドバイザー、チューター、メンターの配置による学び支援。入学前、学期間、課外、オンラインでの学びのアシスト。大学全体の講義・施設の活用。
- スタジオを中心に、多様な教員、上下級生、学内外、社会との交流機会、学びの発展、知の実践的な定着

更に学士・修士5年の期待効果

- 学修一貫により、上位学位取得への誘導、博士課程進学の際の障壁の低減
- 高度人材の短期での送り出し

スタジオを中心とした学び

